

2016年10月4日

プレスリリース

日興アセットマネジメント株式会社

日興アセット、日本およびアジア太平洋先進国の株式に強気

- 米利上げは12月または来年3月
- 日銀とECBは向こう12カ月間、現行政策を維持と予想
- 債券利回りは今後2四半期、比較的安定して推移

日興アセットマネジメント(以下、「日興アセット」)のグローバル投資委員会(GIC)は、日本株式のバリュエーションが割安であること、また香港とオーストラリアの株式に対して強気と予想したことに基づき、向こう6カ月間の日本とアジア太平洋の先進国(除く日本)の株式について、ポジティブとみています。一方、地政学要因と世界の経済成長が引き続き低迷しているのに加え、米大統領選の結果とそれが米国経済に与える影響については不透明感が強いことから、グローバル株式については緩やかなアンダーウェイトを維持しています。

日興アセットのチーフ・グローバル・ストラテジスト兼 GIC の議長であるジョン・ヴェイルは、「昨年9月のGIC以来、グローバル株式に対して慎重な見方をしています。その時から今年の9月28日にかけて、グローバル株式は米ドルベースで7%上昇し、グローバル債券も10%上昇しました」と述べています。「マクローの視点から見た我々の新しいシナリオは、グローバル株式について、ヨーロッパを中心にやや弱気な見方を維持していますが、日本とアジア太平洋の先進国の株式については強気な見方をしています」。

日興アセットの世界各拠点の運用プロフェッショナルにより構成されるGICは、米大統領選でのヒラリー・クリントン民主党候補の勝利を予想する一方で、連邦議会選挙については上下両院で結果が分かるとみており、そうなればクリントン候補の主要な政策プランは実現が難しくなる可能性があります。仮に同候補が大差をつけて勝利した場合でも、同候補の過去の行動に対する捜査が続けられ、政治情勢に大きな不安定さが残る可能性があります。

中央銀行の金融政策の見通しについては、GICはFRB(米連邦準備制度理事会)が12月か2017年3月には利上げを行うと予想しています。これは、小幅の金利上昇であれば十分に対応していけるだけの成長力が米国経済にあるからですが、その後の追加利上げについては、FRBの運営は非常に不透明になるとみています。ECB(欧州中央銀行)と日銀は、向こう12カ月、量的緩和の継続を含めて現行政策を維持するものの、新しい政策は採用しないものとみられます。

債券についてGICは、新しいシナリオにおいて景気の緩やかな減速を予想していることから、債券利回りは今後2四半期、比較的安定的な推移を続けると考えています。GICが予想する来年3月末時点での債券利回りは、米国債10年物が約1.7%、日本国債とドイツ国債の10年物がともに約0%となっています。

通貨については、来年3月末までの間のFRBの利上げが1回に留まるだろうとの見方に基づき、円が来年3月末に1米ドル=100円程度に落ち着くものと予想しています。ユーロは、ECBが量的緩和に大きな変更を加えないと予想されるのに加え、ユーロ圏では高水準の経常黒字が続くと想定され、資本の自国回帰を促す可能性も高いことから、3月末までに1ユーロ=1.13米ドル程度の水準になると予想しています。

GIC は 9 月 29 日に会合を開き、世界経済情勢の四半期レビューを行いました。世界中の運用プロフェッショナルの調査結果に基づき、日興アセットは世界の主要な市場と資産クラスについてのハウスビューを定期的にアップデートしています。最新の主な見通しは以下の通りです*。

- 米国： 2016 年 10 月～2017 年 3 月末の GDP 成長率は 2.0%(季節調整済み年率換算、前半期比)。株価は 2017 年 3 月末までの半年間に S&P500 で 1.2%下落(米ドルベース)。
- 日本： 2016 年 10 月～2017 年 3 月末の GDP 成長率は 0.8%(季節調整済み年率換算、前半期比)。株価は 2017 年 3 月末までの半年間に TOPIX で 6.7%上昇(円ベース)。
- ユーロ圏： 2016 年 10 月～2017 年 3 月末の GDP 成長率は 0.8%(季節調整済み年率換算、前半期比)。株価は 2017 年 3 月末までの半年間に MSCI Europe で 3.8%下落(ユーロベース)。

以上

* 日興アセットの基準日である 2016 年 9 月 23 日からの比較。
(注)特に断りのない限り、日付はすべて暦年ベースです。

本件に関するお問い合わせ：広報 室岡、程
Tel. 03-6447-6775

当資料は日興アセットマネジメントが市場環境等についてお伝えすること等を目的として作成した資料であり、特定商品の勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。資料中において個別銘柄またはセクターに言及する場合がありますが、これは当該銘柄またはセクターの組入れを約束するものでも売買を推奨するものでもありません。当資料の情報は信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、情報の正確性・完全性について弊社が保証するものではありません。当資料に掲載されている数値、図表等は、特に断りのない限り当資料作成日現在のものです。また、当資料に示す意見は、特に断りのない限り当資料作成日現在の見解を示すものです。当資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。当資料中のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。尚、資料中の見解には弊社のものでなく著者の個人的なものも含まれていることがあり、予告なしに変更することもあります。

当資料は弊社の広報担当者の事前の許可なく転載及び引用される事を固く禁じております。内容についてご不明な点等ございましたら弊社広報 03-6447-6775 までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメントについて

日興アセットマネジメントは、日本そしてアジアを代表するグローバルな運用会社であり、世界の投資家の皆様に一流の投資ソリューションを提供しています。世界 30 以上の国から集まる豊富な人材を世界 11 カ国に擁し、200 名を超える運用プロフェッショナルが約 16.9 兆円**の資産を運用しています。55 年を超える実践を経た投資哲学をアジアから世界へ広げていきます。

(上記データはすべて 2016 年 6 月末現在)

* 日興アセットマネジメント株式会社および連結子会社の役社員を含む。

** 日興アセットマネジメント株式会社および海外子会社の連結運用資産残高(投資助言を含む)の 2016 年 6 月末現在のデータ

日興アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 368 号

加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、日本証券業協会